

## (2) リーディング戦略

計画期間中のリーディング戦略として、次の事項に重点的に取り組みます。

★新規 ☆拡充

### (1) 復興をチャンスに変え、後押しする国際コンベンションの推進

熊本地震を契機に新たに生まれた様々な関係や絆を活用し、本市の魅力と国際的なコンベンション開催地としての情報を発信し、交流人口の増加と知名度の向上を目指します。

#### <主な取組>

- ★ 防災・減災などに関する国際会議の誘致
- ★ 熊本城の復旧と「熊本城ホール」を活用したコンベンションの開催・誘致
- ★ 城彩苑、水前寺公園などユニークベニューの海外 PR と活用
- ★ 日系人サミットなど熊本発のコンベンションの創出
- ☆ 福岡市等と連携した分科会等の開催とアフターコンベンションの推進
- ☆ 海外からの本市視察の積極的受入れ

### (2) 欧米豪からの誘客促進

国際スポーツ大会等の開催の機会や既存のネットワークを活用し、従来からの東アジアからの誘客に加えて、欧米豪からの新たな観光客層の獲得を目指します。

#### <主な取組>

- ★ 「ラグビーWカップ 2019」及び「女子ハンド 2019」参加国をターゲットとした新たな観光客層に向けたプロモーション
- ★ 友好姉妹都市等との共同プロモーションと誘客（共同ポスターの作成、歴史的建築物や史跡、公園等の姉妹提携等の締結など）
- ★ ナント3大陸映画祭等の映画を活用したまちづくりと人づくり（国際制作ワークショップと映画教育）
- ☆ 国等の関係機関との連携や友好姉妹都市のつながりを活用した欧米豪への誘客プロモーション
- ☆ 水泳、ハンドボール、ラグビー、格闘技などにおける欧米豪代表チームの東京オリ・パラ等の合宿誘致

### (3) 「世界が認める熊本城」づくり

復旧過程の段階的公開を図り、熊本城ならではの復興ツーリズムを創造するとともに、最新技術を使った視覚的な見せ方を行うなど、国内外の誰もが感動体験を得られる文化遺産・観光施設を目指します。また、海外への効果的なプロモーションを行います。

#### <主な取組>

- ★ VR等の最新技術を活用した熊本城の魅力向上

- ☆ 世界のVIPの熊本城復旧過程視察受入れ
- ☆ 熊本城の復元ストーリーを用いた海外観光客向けPR
- ☆ 「おもてなし武将隊」を活用した海外への熊本城のPR

#### (4) 外国人目線での環境整備

「ラグビーWカップ 2019」、「女子ハンド 2019」、東京オリ・パラ等の開催が、効果的な外国人観光客の誘客につながるよう、関連する受入環境の整備及び向上に取り組みます。また、大会終了後も、これらを大会のレガシーとして活用し、さらなる外国人観光客の誘客や在住外国人の生活の質の向上につなげていきます。

##### <主な取組>

- ★ 「霊巖洞」、「金峰山」など外国人向けにポテンシャルの高い観光スポットの開発及びPR
- ☆ 最新の電子決済システム等を活用したキャッシュレスな環境整備の推進（城彩苑、アーケードなど）
- ☆ 多言語やピクトグラム<sup>17</sup>などによる分かりやすい案内表示の推進
- ☆ SNS等を活用した外国人に対する防災情報の提供
- ☆ 留学生への生活・就職支援とネットワークづくり

#### (5) 熊本の食のPRと販路開拓・拡大

民間企業等と連携し、生産者や事業者等に即効性の高い販路拡大や商談の機会を提供するとともに、香港、マレーシア、シンガポール、台湾をはじめとした国内外の見本市・商談会等の機会を捉え、農産物をはじめとする熊本の食のPRと販路開拓・拡大を図ります。

##### <主な取組>

- ☆ 海外での食品見本市・商談会等の出展支援等
- ☆ 海外に向けた熊本産品のプロモーションの展開
- ☆ 関係機関や民間企業等と連携した海外への販路開拓・拡大の支援

#### (6) 海外から評価される政策・まちづくりの推進

国際機関や先進都市との間で都市課題やまちづくりの先進事例を共有し、共に解決を目指します。また、「第6回日仏自治体交流会議」の本市開催を契機に、本市が中心となって都市間連携と先進的取組を主導していきます。

##### <主な取組>

- ★ 「日仏自治体交流会議」の開催と日仏自治体間でのイニシアティブの発揮
- ☆ 国連等との連携による地下水保全の取組のPRと国際協力
- ☆ 歴史や文化、伝統を活かした中心市街地のまちづくりとおもてなし

<sup>17</sup> 文字以外のシンプルな図記号によって表した絵文字や絵言葉のこと。